

# 人間中心のAI社会原則検討会議活動状況

---

平成30年6月26日

人工知能技術戦略会議事務局



# 人間中心のAI社会原則検討会議

2018年3月23日開催の人工知能技術戦略会議にて設置決定

## 目的

- AIをより良い形で社会実装し共有するための基本原則となる人間中心のAI社会原則(Social Principles of Human-centric AI)を策定。
- AIに関する倫理や中長期的な研究開発・利活用等について、産学民官のマルチステークホルダーによる幅広い視野からの調査・検討を行う。
- 同原則をG7、OECD等の国際的な議論に供する。

## スケジュール

2018年5月8日 第1回会合

秋頃 論点整理

2019年3月 人間中心のAI社会原則の策定

### < 関連する国際会議 >

5月14～18日 OECDデジタル経済政策委員会(CDEP)関連会合

6月8～9日 G7サミット(カナダ・シャルルボワ)

11月12～16日 OECD・CDEP関連会合

未定 AIに関するG7マルチステークホルダー会合(カナダ・モントリオール)

2019年:

未定 G7(フランス)

6月8～9日 G20貿易・デジタル経済大臣会合(日本・つくば市)

28～29日 G20サミット(日本・大阪市)

## 構成員

【議長】 須藤 修 (東京大学大学院情報学環)

【副議長】 北野 宏明 (日本経済団体連合会・ソニーコンピュータサイエンス研究所)

- |                             |                            |                        |
|-----------------------------|----------------------------|------------------------|
| • 安宅 和人 (ヤフー)               | • 岩本 敏男 (エヌ・ティ・ティ・データ)     | • 浦川 伸一 (損害保険ジャパン日本興亜) |
| • 江間 有沙 (東京大学政策ビジョン研究センター)  | • 大屋 雄裕 (慶應義塾大学法学部)        | • 金井 良太 (アラヤ)          |
| • 木俣 豊 (情報通信研究機構)           | • 國吉 康夫 (東京大学大学院情報理工学系研究科) | • 近藤 則子 (老テク研究会)       |
| • 関口 智嗣 (産業技術総合研究所)         | • 高原 勇 (トヨタ自動車)            | • 武田 晴夫 (日立製作所)        |
| • 中川 裕志 (理化学研究所)            | • 永沼 美保 (日本電気)             | • 新居 日南恵 (manma)       |
| • 羽鳥 裕 (日本医師会)              | • 樋口 知之 (統計数理研究所)          | • 平野 晋 (中央大学総合政策学部)    |
| • 福岡 真之介 (西村あさひ法律事務所)       | • 堀 浩一 (東京大学大学院工学系研究科)     | • 松尾 豊 (日本ディーラーニング協会)  |
| • 丸山 宏 (Preferred Networks) | • 山川 宏 (ドワンゴ)              |                        |

# 人間中心のAI社会原則検討会議活動状況

## 第一回（平成30年5月8日開催）

### 主な議題

#### 1. 国際的な議論等諸外国の動向

#### 2. 国内における取組紹介

- ・人工知能と人間社会に関する懇談会（内閣府）
- ・AIデータ契約ガイドライン（経産省）
- ・経団連AI活用原則の議論（北野副議長）
- ・AIネットワーク化の推進（総務省）
- ・人工知能学会倫理指針（松尾構成員）

#### 3. 意見交換

## 第二回（平成30年6月1日開催）

### 主な議題

#### 1. 国際的な議論等諸外国の動向

#### 2. AI-Readyな社会のビジョンと実現に向けた課題について(構成員プレゼン)

- ・「"AI-Ready"とはなにか？(試案)」（安宅構成員）
- ・「AI-Readyとは？」（丸山構成員）
- ・「リスク配分システムとしての法」（大屋構成員）

#### 3. 意見交換

## 第三回（平成30年7月5日開催予定）

### 主な議題

#### 1. 国際的な議論等諸外国の動向

#### 2. AI-Readyな社会のビジョンと実現に向けた課題について(構成員プレゼン)

- ・浦川構成員(損害保険ジャパン日本興亜)
- ・永沼構成員(日本電気)
- ・羽鳥構成員(日本医師会)

#### 3. アウトプット作成に向けた意見交換

# 海外における主な議論

英国

「英国におけるAI」(2018年4月)

IEEE

「倫理的に調整された設計 第2版」(2017年12月)

仏国

「AI普及のための報告書」「AI戦略」(2018年3月)

Future of Life Institute

「アシロマAI原則」(2017年2月)

G20 ビジネスサミット  
(2017年5月)

G7イノベーション大臣  
会合 (2018年3月)

G7シャルルボア  
サミット (2018年6月)

G7情報通信・産業大臣  
会合 (2017年9月)

G7香川・高松情報通信  
大臣会合 (2016年4月)

G7 ビジネスサミット  
(2018年4月)

AIに関する国際カンファレンス  
[OECD・総務省共催]  
(2017年10月)

Partnership on AI  
「信条」(2016年9月)

OECDデジタル経済政策委員会 (CDEP)  
(2017年11月, 2018年5月)

米国情報技術工業協議会 (ITI)  
「AI政策原則」(2017年10月)

欧州委員会 諮問機関 (EGE)

「EU条約・基本権憲章に含まれる価値に基づく倫理原則」  
(2018年3月)

ホワイトハウス

「人工知能の未来に備えて」(2016年10月)

# 国内の主な取組

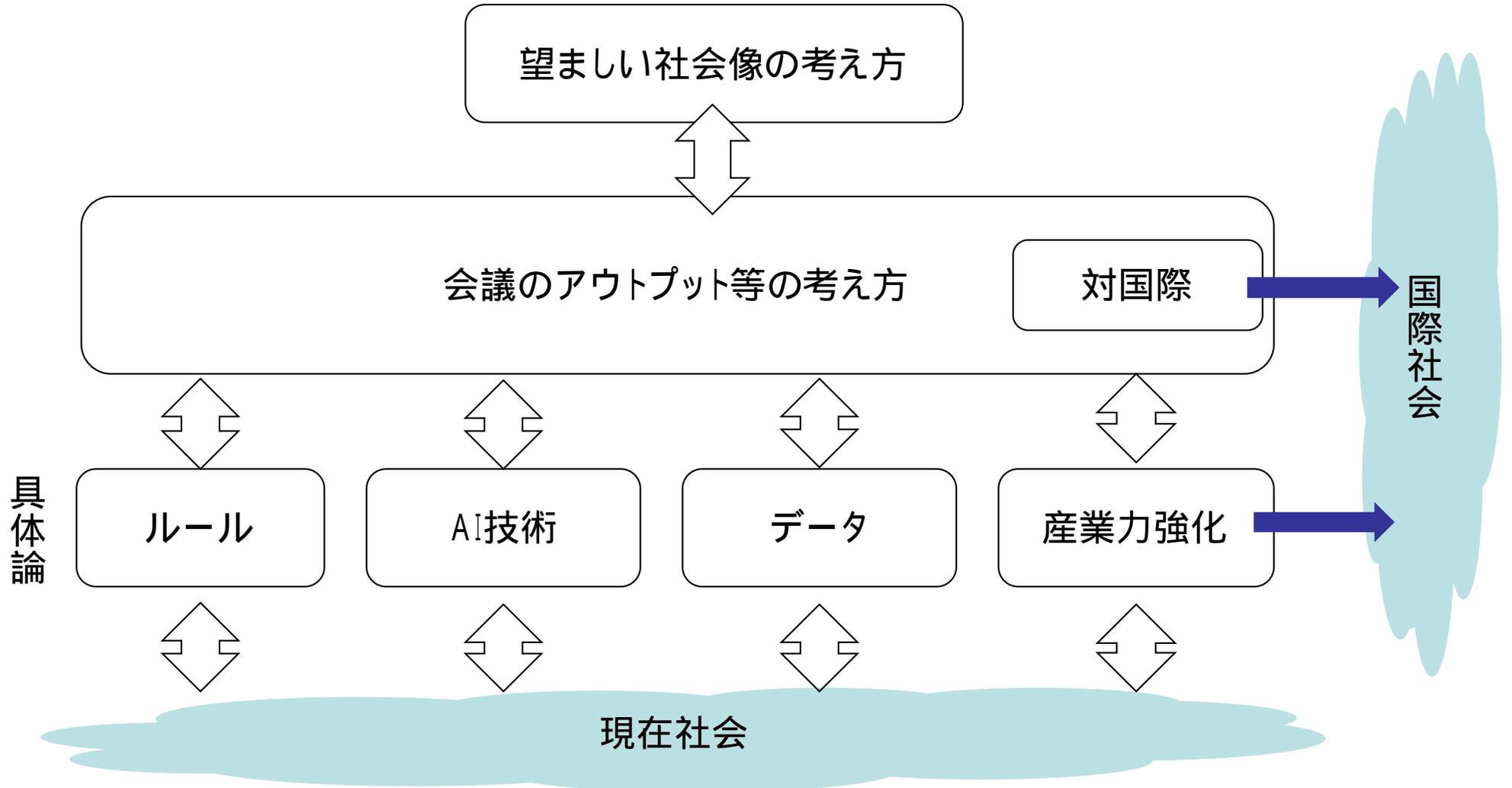
	H28年度	H29年度	H30年度
内閣府	人工知能と人間社会に関する懇談会	報告書 (H29.3)	
総務省	報告書2015 (H27.6) AI開発原則 (8原則) (H28.4)	報告書2016 (H28.6) 報告書2017 (H29.7) 国際的な議論のための AI開発ガイドライン案 (H29.7)	報告書2018 AI利活用原則案
経産省	データに関する取引の推進を目的とした 契約ガイドライン (H27.10)	データの利用権限に関する契約ガイドライン (H29.5)	AI・データ契約ガイドライン公表
人工知能学会	倫理指針検討	倫理指針策定 (H29.2)	
経団連			AI活用原則TF

これまでの取組の議論を参考

人間中心のAI  
社会原則検討会議

# 主な議論

これまでの議論について、「望ましい社会像の考え方」、「会議のアウトプット等の考え方」、「ルール」、「AI技術」、「データ」、「産業力強化」の6つの論点で整理。

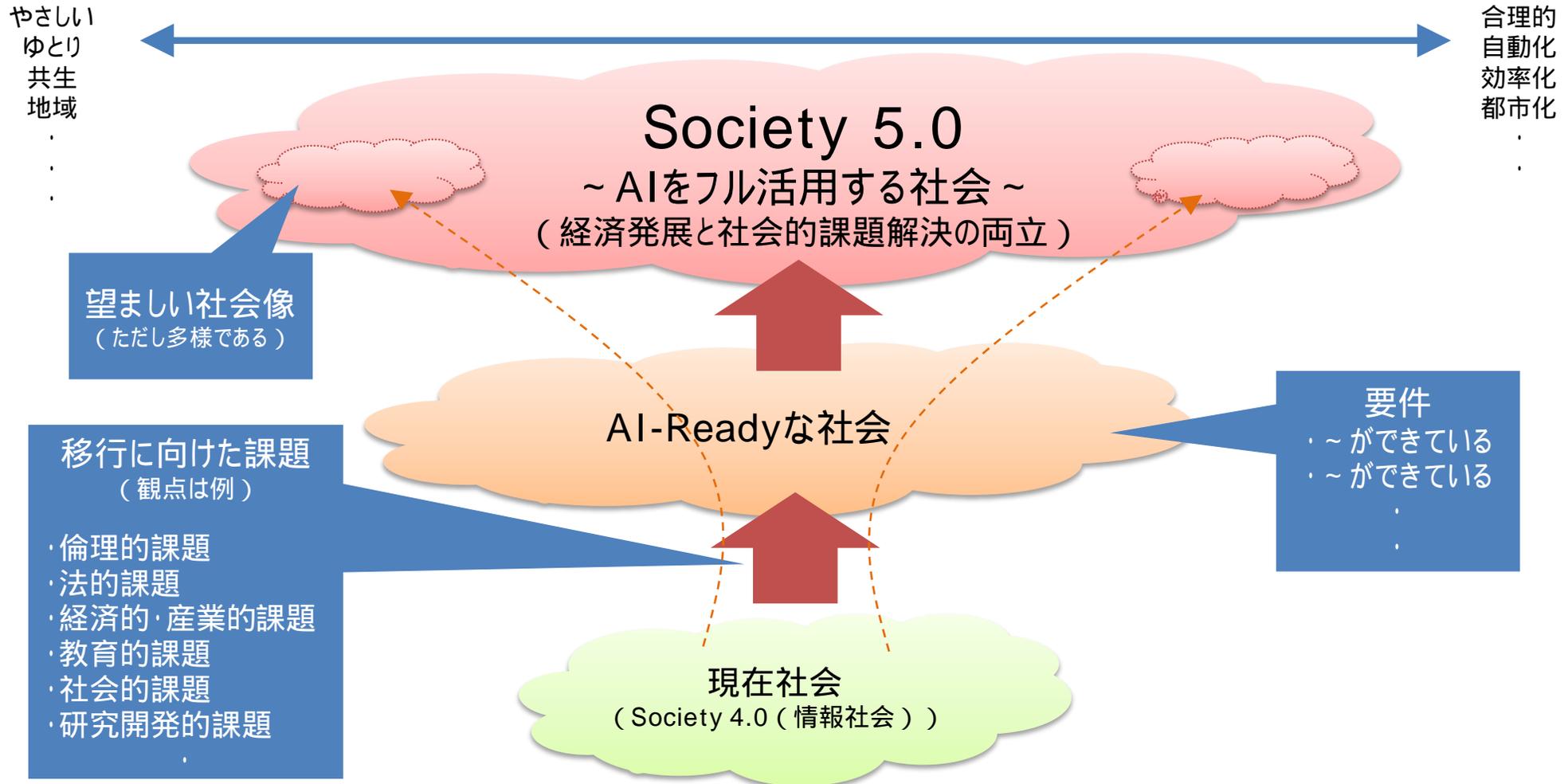


# 主な議論

論点	主な議論
望ましい社会	<ul style="list-style-type: none"><li>AIが実装された社会、またその前段階としてのAI-Readyな社会を想定して議論するべき。</li><li>公共財としてAIがどうあるべきか、AIと社会の在り方、目的や意義を考える必要がある。</li></ul>
会議のアウトプット	<ul style="list-style-type: none"><li>わかりやすいメッセージ、議論の根幹となる指針を早期に決めるべき。</li><li>影響力のある原則とするために どのようなアウトプット・アウトカムを出すべきかを考えるべき。</li><li>一般の人や開発者が安心できるような原則・理念を打ち出すべき。</li></ul>
会議のアウトプット(対国際)	<ul style="list-style-type: none"><li>各国が合意して皆で守ることができる原則を打ち出す必要がある。</li><li>我々が有利になるような内容を国際向けには、きれいごととして美しい言葉で作るべき。</li><li>日本独自の考え方を提示。</li></ul>
ルール	<ul style="list-style-type: none"><li>AIで起こりうることを想定して、予防的なルールを整備しておくことが、社会的受容性を高め、積極的な利活用、開発を進めることにつながる。</li><li>国民に受け入れられるためにも、委縮効果のないレベルの法規制が必要。</li></ul>
AI技術	<ul style="list-style-type: none"><li>技術をしっかりと把握して、戦略的に原則を検討するべき。</li><li>AIで何が起こりうるかを予測し、技術の未熟さも踏まえて原則を検討するべき。</li></ul>
データ	<ul style="list-style-type: none"><li>日本で生まれたデータが外国に吸い上げられている状況は致命的。</li><li>データ標準化・データ連携は国が主導し、海外展開・連携まで考えるべき。</li><li>データを個人が管理するコンセプトは重要。</li></ul>
産業力強化	<ul style="list-style-type: none"><li>産業で勝たなければ意味がない。日本の強みを活かす戦略が重要。</li><li>日本の勝ち負けを議論するのではなく、人類のために何を考えるべきかの議論が必要。</li><li>諸外国のスピードは圧倒的。</li></ul>

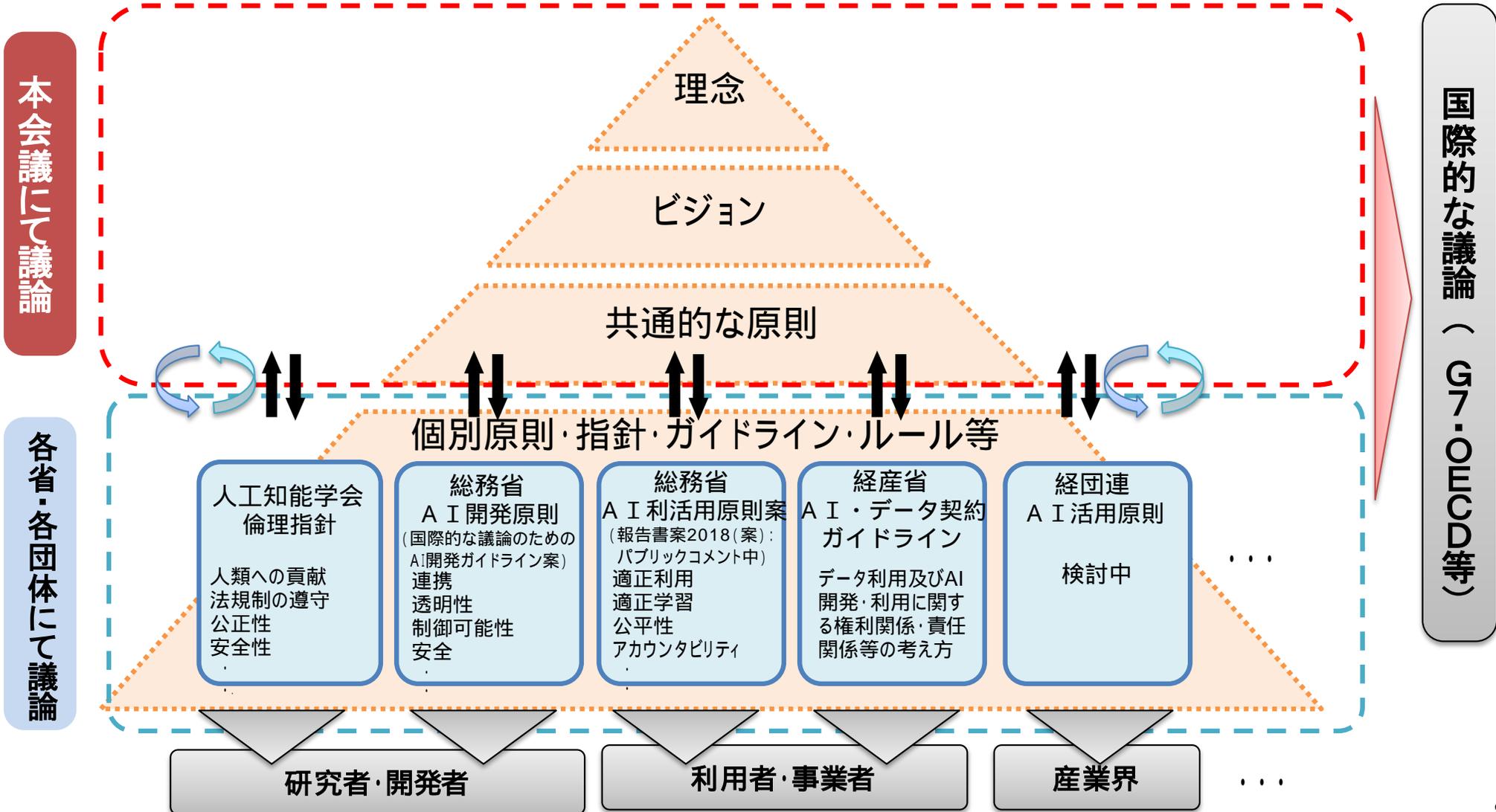
# AI-Readyな社会のイメージと移行に向けた課題検討

我が国が目標としているSociety5.0の望ましい社会像は人によって多様ではあるが、そこに至る手前の社会であるAI-Readyな社会の具体的なイメージと、現在からAI-Readyな社会に移行するうえでの課題（道筋）を示し、**共通的に押さえておくべき原則**や**保持しておくべきVisionや理念**を見いだす。



# 人間中心のAI社会原則検討会議のアウトプットレベル(案)

本会議のアウトプットレベルは、Society 5.0に向けて、個別課題に対するガイドライン等を検討する各省や各団体等のAIに関わるマルチステークホルダーが、共通的に押さえておくべき考えを示した理念やビジョン、原則等として検討を進める。



# スケジュール

時期等	人間中心のA I 社会原則検討会議	関連する対外イベント
第1 Q	第一回：5/8（火）13-15時 第二回：6/1（金）16-18時 第三回：7/5（木）15-17時	・5/14-18 OECD・CDEP関連会合 ・6/8-9 G7サミット（カナダ） ・6/15 AI・データ契約ガイドライン公表
第2 Q	第四回：7/31（火）10-12時 第五回：9月上旬（調整中） 第六回：9月下旬-10月上旬（調整中）	・AIネットワーク社会推進会議報告書2018公表 （未定：7月中旬予定） ・8/23-24 G20デジタル経済大臣会合（アルゼンチン）
第3 Q	第七回以降（未調整） 論点整理 人間中心のAI社会原則（仮）案の検討	・11/12-16 OECD・CDEP関連会合 ・AIに関するG7マルチステークホルダーカンファレンス（カナダ）
第4 Q	（パブリックコメント） 人間中心のAI社会原則（仮）の策定	2019年 ・G7（フランス）（未定） ・6/8-9 G20貿易・デジタル経済大臣会合（日本） ・6/28-29 G20サミット（日本）